

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ広陵（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別対応で、専門的な支援を提供しています。	・子どもが意欲的に取り組めるように興味・関心のあるものを使って支援を行っています。 ・感覚統合療法を取り入れています。	・社内、社外の研修の参加することで、職員の知識を向上していきます。
2	・担当制ではありません。	・それぞれの専門的な視点での支援を行っています。 ・職員同士、情報の共有をすることで様々な視点から関わっています。	・事例検討会議を開催しています。
3	・予約制度で利用される日を選んでいただいています。	・常に空き枠を提示することで、利用しやすくなっています。	・声掛けをするなど、定期的に支援を受けられるように案内しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別療育のため、子ども同士のコミュニケーションに繋がりにくいところがあります。	・子ども同士が関わる機会が少ないです。	・イベントなどを開催することで関わる機会を設けていきます。 ・目的が合えば、療育時間内の他児と関わる時間を設けていきます。
2	・様々な遊具があるため、視覚に入りやすい環境です。	・遊具など物を片付けるスペースが少ないです。	・物品を厳選していきます。 ・倉庫の確保していきます。 ・目隠しするなど見えにくくしていきます。
3	・待機の方の待ち時間が長くスムーズに利用していただけいません。	・1年では卒業に繋がらず、待機の順番が進んでいない状態です。	・次のステップを相談支援員さんに相談していただいたり一緒に考えていくなど安心して次に進んでいただけるように考えていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ広陵				公表日	2026年 3月 2日	
				利用児童数	2026年 1月 5日	回収数	30人中21人
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0	0	フィードバックがあるので、家でも意識できる	無理なくお家でも取り組んでもらえるものが提供できるように努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	3	7		それぞれ所属の園で交流の機会を持たれているため、今のところ事業所として交流の機会はありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	0	2	7		家族の方が参加できる研修会などの情報提供は行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	3	9		保護者の方が気軽に相談していただけるよう、適切な対応を努めています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	3	9		保護者勉強会の開催などを検討しています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	1	1	わからないことがあった際、丁寧に対応していただきました。	保護者の方が気軽に相談していただけるよう、迅速かつ適切な対応を努めています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	1	3		定期的にInstagramにて活動の内容などを発信しています。機会があればご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	6		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	1	3		策定はしています。訓練実施後は、貼りだしも行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	2	怪我しないように対応されている	安全を心がけていますが、事故等が発生した際、迅速かつ適切な対応ができるように努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	0	楽しかった様子が子どもから伝わってきます	子どもたちが楽しく活動に取り組んでもらえるようより一層支援に力を入れています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1	0	0	本当にいつもありがとうございます。先生方には大変感謝しております。子供も楽しく通えています。	今後も安心して活動に取り組み、楽しく通っていたるように努めていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ広陵		公表日		2026年 3月 2日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	スペースを確保するための整理整頓をしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	基準に応じた人員配置はなされているが、曜日によって人員数に差があるため、職員同士協力しながら業務に取り組んでいます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	段差があるところはマットを配置したりして配慮しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清掃や消毒を定期的に行っており、静整頓に心がけています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	メインの療育室以外に多目的に使える個室があります。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎朝のミーティングと必要であれば事例検討を行い改善に繋げています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	頂いた意見を職員で共有し、改善に繋げています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の業務の中で、提案されたことを話し合い、改善に繋げています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第三者による外部評価が行われていません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定期的に法人での研修を開催している以外に個別でも研修に参加する機会を設けています。			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	HPIに公表されています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	療育の中での様子やモニタリング、職員との話し合いを通して作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員との会議の中から、療育の方向性をみんなで共通理解し、検討した結果を踏まえて計画書を作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎回、療育実施前に計画書を確認しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	全てのこどもにJSI-Rを実施しており、療育の様子の観察とともに保護者の方からの情報を踏まえて確認しています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	こどもの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員同士で話し合いを持つなど、子どもに応じたプログラムを立てています。			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	個々に合わせたプログラムになっているため、固定化された内容となる時もあります。固定化された内容の時は、理解していただけるように説明を行います。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	3	基本的には個別療育ですが、必要に応じて同室児と関わるなどの機会を設けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝ミーティングを行う中で、確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	担当制ではないので、気づいた点などがあれば支援後に職員みんなに共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々記録は、貯めることなく記入し、次の療育に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年ごとにモニタリングを行い、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	基本は、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要があれば、連携していく体制は整っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要があれば支援を行い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5	小学校や特別支援学校の方から情報共有したいとの連絡があった場合は、積極的に共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	地域の児童発達支援センターとの連携を図ることはできていません。	今後、連携を取ったり助言を頂ける機会を設けていきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	機会を設けることができていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	療育後のFB時に、こどもの発達の状況や課題について伝え合っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要な方に関しては、ペアレントトレーニングを行っています。また、研修などの情報は掲示することで案内をしています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に丁寧に説明を行っています。また、掲示したり、質問がある場合はお答えさせていただきます。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングや日々の療育の様子、FBなどに主に保護者から家族の意向を確認する機会を設けています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	作成した計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	FB時に話す機会を設けています。また、時間を取って相談する機会も設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	現在のところ、機会を設けることができていません。	保護者や兄弟と交流する機会を考えていきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談の申入れに関しては、迅速かつ適切に対応できるように体制は整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的に、Instagramで活動内容や行事予定などを掲げています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付きの棚に収納しています。また、取り扱いには十分に留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	意思の疎通や情報伝達は、その方に合わせた方法で行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	事業所としては行っていませんが、法人として行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	それぞれのマニュアルを策定しています。研修訓練後に内容を掲示し周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPの策定をしています。定期的に研修及び訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に確認し、書類にも記載していただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	食事の提供はありませんが、アレルギーの確認は行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、研修や訓練を行うことで必要な措置を講じています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	子どもの安全確保のため、研修及び各訓練の内容を掲示して家族に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	インシデントアクシデントのレポートを提出し、同じことが起こらるように情報を共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	職員の研修を行い、話し合いの機会を設けています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	毎日身体拘束があったかを確認しています。行う場合は、こども及び周りの人の安全が守られるよう十分配慮し説明を行い了承を得ています。		